

地域経済季報

◎令和3年7～9月期
松江商工会議所

総評

今期も、新型コロナウイルス感染症の猛威は留まるところを知らず、多くの業種に巨り影響を受けることとなった。とりわけ、建設業においては、ウツジョックの影響による木材価格の高騰が発生したほか、製造業では、半導体不足によって生産活動が停滞し、関連して自動車や家電販売等の小売業へも多大な影響を及ぼすこととなった。また、当地における大雨や台風等の相次ぐ自然災害の発生や、同感染症の陽性者が急増したこともあり、飲食業や旅館・ホテル業、さらには運輸・旅客業等を中心に影響を受ける結果となった。来期も、同感染症から受ける影響は継続することと想定されるが、ワクチン接種の急速な普及、各地での緊急事態宣言の解除等明るい兆しも見受けられる。また、新たな政権が樹立後の本格稼働となることから、同感染症で打撃を受けた経済を立て直すためにも、政府による思い切った財政出動による景気刺激策や官民一体となった気運醸成が切に期待される。

調査事業所のコメント

	前期状況 (4～6月期)	今期状況 (7～9月期)	来期見通し (10～12月期)	調 査 事 業 所 の コ メ ン ト	
建設業	→	↘	→	今期は、相次ぐ大雨、台風に伴う被害があり、復旧作業に追われた。建築工事は、世界的な木材不足により木材価格が高騰。加えて、半導体不足により、商品の生産及び出荷に遅れが生じた。これにより、住宅価格の値上げや工期の見通しが立てにくく厳しい状況となった。来期も、原材料の高止まり、商品の納期遅延が続くと思われる。公共工事発注は安定傾向にあり、減災・防災対策工事の必要性が高まるなど期待が寄せられる。	
製造業	→	→	→	今期は、半導体不足により電子部品関連では部品入荷の目途が立たず生産活動に影響が出ている。コロナ禍の不透明感から設備投資の動きも依然として弱い。来期は、高騰する銅材価格のさらなる値上げや電気料金の値上げが予想され、取り巻く環境は厳しさを増す。移動制限の緩和により営業活動の正常化を望みたい。	
卸売業	→	→	↘	今期は、各業界7月までは動きがあったものの、8月半ば以降で失速。モノが動かず経済自体が回っていない印象。また、東南アジアの感染拡大によって商品自体が製造できず流通していないことも影響している。来期も、中小・小規模事業者では事業所から一人でも感染者が発生することで事業活動が止まってしまうことなども考慮すると、ワクチン接種が進んだとしても楽観視できる要素はほぼない。	
小売業	衣料品	↗	↘	↘	今期は、7月まではまだ動きがあったものの、8月以降、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けてかなり悪くなった。益明けからは特に悪い状況が続いている。来期は、9月終盤からの感染者数の減少を受けて都市圏の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除を受けた消費マインドの回復に期待したいが大幅な回復は難しいと予想。
	家電	→	↘	→	今期は、期待を寄せていたエアコンの買換え需要が、相次ぐ大雨等の気象条件も影響し、量販店・小売店ともに売上に不調に推移した。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外の生産拠点が休業に追いやられ、エコウィットの一部製品は納期遅れが生じている。来期は、行動制限の解除に伴う購買意欲の向上に期待するものの、展示販売会等が開催出来ない以上、急激な回復は厳しいと予想する。
	自動車	→	↘	→	今期の新車販売台数は、ハイブリッド車（HV）を中心に需要は安定しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による車載半導体不足の問題により納期遅延の傾向が続き、総じて前年同期比減少。来期については、コロナ禍の影響による先行き不透明感が依然としてあるものの、安全性や環境に配慮した車への買い替え需要に期待。
	総合家量販店	↗	→	→	今期は、大雨・台風による時短営業、盆以降の新型コロナウイルス感染症の感染者増加の影響もあり来店客数は低迷し、特に婦人・紳士共に衣料品販売は非常に厳しい状況に置かれた。半面、夏装・ブランド化粧品等の高単価商品は比較的好調を維持。催事も、感染対策を施し大きな混乱はなく実施。来期は、独自のプレミアム買い物券発行による集客策や、お歳暮の特典付き早期受け付け等の3密の回避策を計画している。ワクチン接種者の行動制限緩和による来店客数増加に期待。
業	スーパー	→	→	→	今期は、お盆期間の台風・長雨の悪天候及び、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から帰省を見送る傾向が強くなったことにも影響し、来店客数は低迷した。来期は、鳥取県内において緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令されておらず消費者マインドとして家庭内消費需要は堅調であるものの、今後天候不良からくる季節商品の相場乱高下、緊急事態宣言解除による消費行動の変化など、刻々と変化する状況を注視する必要がある。
	特産品	→	→	↗	今期は、緊急事態宣言地域の拡大に加え、大雨や台風による休業等の影響もあり、来店客数の減少が売上に大きく影響した。店頭での販売が低迷する中、SNSを活用することで全国から注目され、インターネット販売で売上を伸ばす商品が目立った。来期は、厳しい状況が懸念されるが、ワクチン接種により少しずつ観光客の行動にも変化が見受けられることから、行動制限の緩和による来店客数の増加に期待する。
サービス業	飲食	↘	↘	↘	今期は、デルタ株などの影響により8月には過去最高の陽性者数を記録するなど感染が急拡大し、市内でも再び飲食店クラスターが発生したことから、外食需要は著しく低下。再び自主的な休業をせざるを得ない店舗も見られるなど厳しいを乗り越えた事態にまで悪化した。来期は、感染状況に改善が見られ、ワクチンの接種率も高まっていることで、行動制限が緩和され底から抜け出すことを期待するが、会社関連の忘年会需要の回復までは厳しいものと予想。
	旅館・ホテル	↘	→	→	今期は、WeLove山陰キャンペーンや教育旅行、スポーツ大会等で昨年より稼働率は上昇したが、お盆前後の大雨や松江市内のコロナ感染者数の急増が影響し、後半はキャンセルや延期が多発した。ビジネス需要は低調に推移を続けている。来期は、緊急事態宣言解除による観光需要の回復と、自治体が展開する冬季対策キャンペーンによる宿泊客数増に期待する。
	運輸・旅客	↗	↗	↗	今期は、旅客業では繁忙期であり、昨年よりは稼働が多かったものの、お盆明けの感染者数急増を受け再び利用者が激減した。運輸業では前期に引き続き、通販利用者の増加により配送需要が依然高く、人手不足となっている。来期は、緊急事態宣言の解除とWeLove山陰キャンペーン、プレミアム飲食券による移動の増加に期待する。

※売上の前年同期比について ↗ ↘ ↘ により表しています。